1 成人保健事業

市民の健康水準を高めていくには、若い世代から生活習慣病(脳血管疾患、心疾患、がん、糖尿病など)を予防し、健康管理に対する支援や健康診査等の保健事業による健康づくり支援が必要となります。

本市では、がん検診や30・35歳健診等の健康診査を実施し、疾病の早期発見、 早期治療につなげ、個別の健康相談や教室を設けることで、健康管理の推進を行いま した。

また、新規事業として、令和4年7月より、がん患者の治療による脱毛や乳がん治療による乳房の形状の変化による心理的・経済的負担の軽減を図るため、がん患者アピアランスケア支援事業を開始しました。

NO	事業	名	実施時期・回数	対象	事 業 内 容	令和4年度 最終実績 (人)
1	健康手帳	交 付	随時	40 歳以上	希望者に随時配付	16
	H)) 14 34	個別	6~10月	50 歳以上で前年 度内視鏡未受診者	胃内視鏡検査	926
2	胃がん検診			40 歳以上で前年	胃部レントゲン直接	1, 501
		集団	46 回	度内視鏡未受診者	撮影	1, 100
	大腸がん	個別	6~10月	40 歳以上	便潜血検査	4, 071
	検診	集団	46 回	40 成以工	医伯皿快重	1, 348
3	が ん 検 診 推 進 事 業 (クーポン)	集団	5~2月	41 歳	便潜血検査	76
4	肺がん検診	個別	6~10月	40 歳以上	胸部レントゲン直接撮影、喀痰検査【50歳以 上の喫煙指数(1日の喫	4, 510
1	70 10 10	集団	46 回		煙本数×喫煙指数)が 600以上の方で希望者】	1, 305
	前立腺がん	個別	6~10月	50 歳以上	PSA検査(血液検	1, 907
5	検 診	集団	30 回	男 性	査)	475
	子 宮 が ん 検 診	個別	6~10 月	20 歳以上女性で 前年度子宮がん 検診未受診者	視診、頸部または体部 細胞診検査(6か月以内 に不正出血、月経異 常、褐色のおりものが あった方で希望者)	966
6		集団	20 回		視診、頸部細胞診検査	732
	がん検診	個別	6~2月			29
	推 進 事 業 (クーポン)	集団	20 回	21 歳女性	視診、頸部細胞診検査	2

NO	事業	名	実施時期 ・回 数	対象	事業内容	令和4年度 最終実績 (人)
		個 別	6~10月	30 歳以上 39 歳 以下女性	視触診、超音波検査	408
	乳がん検診	III // 1		40歳以上女性で前年度乳がん	マンモグラフィ検査	586
7		集団	30 回	(マンモ)検診未受診者	マンモグラフィ検査	801
	がん検診 推進事業	個 別	6~2月	41 歳女性	 マンモグラフィ検査	72
	(クーポン)	集団	0 回	""	7 7 7 7 7	40
	肝 炎	個 別	6~10月	41 歳以上 70 歳 以下で過去に肝炎	B型・C型肝炎ウイル	24
8	ウイルス 検 査	集団	33 回	検査を受けたこと がない方	ス検査(血液検査)	21
	健康増進事業 (クーポン)	集団	33 回	40 歳	B型・C型肝炎ウイル ス検査(血液検査)	63
9	30·35 歳 健 診	集団	6 回	30・35 歳	身体計測、血圧、血液 検査	101
10	すこやか 健 診	集団	1 回	40 歳以上 生活保護受給者	身体計測、血圧、血液 検査、心電図	6
11	骨粗しょう症 検 診	集団	4 回	20歳以上70歳 以下の女性で前年 度骨粗しょう症検 診未受診者	骨粗しょう症の早期発 見と予防 踵骨(かかと)の超音 波検査	85
13	健 康 框	談	随時	希望者	健康に関する相談	235
14	栄養相	談	随時	希望者	個別の栄養相談	3
17	いきいき	体 操	128 回	希望者	健康増進・体力向上の ための体操	1, 187
18	-	自 指 導	30 回	乳がん検診受診者	乳がん検診受診者への 自己検診法指導	841
19	骨粗しょ 栄養 推	う 症 i 導	4 回	骨粗しょう症検診 受診者	骨粗しょう症検診の結果、要指導、要精検に なった方への栄養指導	42
12	が ん 患 アピアラ ケア支援	ンス	随時	がん治療に伴う 補整具の購入	がん患者の治療による 脱毛や乳房の形状の変 化に対するウィッグ や、乳房補整具の購入 費用を補助	ウィッグ 18 乳房補整具 8
20	家 庭 訪	5 問	随時	希望者及び関係 機関から連絡	疾病の治療や自立に向 けての相談、支援	14

2 成人保健事業詳細

(1) 健康手帳交付

健康手帳を交付することで、健康診査の記録や健康の保持のために必要な事項を記録し、自らが健康管理できるよう支援します。

交付場所:七宝・美和・甚目寺保健センター、がん検診、健康相談、各種教室

(単位:人)

区分	40~	74 歳	75 歳	以上	計		
年度	男	女	男	女	男	女	
平成 30 年	1	11	2	8	3	19	
令和元年	1	6	2	6	3	12	
令和2年	2	2	2	2	4	4	
令和3年	0	2	0	0	0	2	
令和4年	5	5	2	4	7	9	

※新規交付のみ

(2) 健康診査

成人の健康診査として、がん検診や肝炎ウイルス検査、30・35 歳健診などを実施し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげ、市民の健康向上や健康管理の推進を行います。

ア がん検診

がん検診を実施することにより、がんの早期発見、早期治療につなげます。

(ア) 各種がん検診年度別受診状況

(単位:人)

区分	胃	がん	子宮	頸がん	乳	がん
年度	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
平成 30 年	4, 313	8. 1	1,874	5. 2	1, 704	6. 3
令和元年	4, 109	7. 7	2,003	5. 5	1, 793	6. 6
令和2年	2, 611	4. 9	1, 147	3. 1	780	2.8
令和3年	2, 759	5. 2	1, 505	4. 2	1, 193	4. 4
令和4年	3, 527	6. 6	1,729	4. 7	1, 499	5. 4
			大腸がん前立腺がん			
区分	肺	がん	大朋	易がん	前立	腺がん
区分 年度	肺 受診者数	がん 受診率(%)	大服 受診者数	場がん 受診率(%)	前立。	腺がん 受診率(%)
年度	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
年度 平成 30 年	受診者数 5,934	受診率(%)	受診者数 5,837	受診率(%)	受診者数 2,452	受診率(%)
年度 平成30年 令和元年	受診者数 5,934 6,157	受診率(%) 11.2 11.6	受診者数 5,837 6,017	受診率(%) 11.1 11.3	受診者数 2,452 2,514	受診率(%) 13.5 13.9

※子宮がん・乳がんは単年受診率

※乳がん検診は、マンモグラフィのみ

(イ) 胃がん検診

· 年代別男女別受診状況

(単位:人)

	区分	対象者		受診者数		受診率	曼	要精検者数	女	要精検
		N 多 日 数	X 線	内視鏡	合計	文形学 (%)	X線	内視鏡	合計	率
年齢		奴	検査	検査	ПП	(/0)	検査	検査	ΠП	(%)
40~44	1歳	5, 809	192		192	3. 3	5		5	2. 6
45~49) 歳	7, 756	233		233	3.0	5		5	2. 1
50~54	1歳	7, 412	206	58	264	3.6	7	3	10	3.8
55~59) 歳	5, 301	190	61	251	4. 7	8	2	10	4. 0
60~64	1歳	4, 326	206	70	276	6.4	9	6	15	5. 4
65~69	歳	4, 185	263	102	365	8. 7	11	7	18	4. 9
70 歳以	以上	18, 906	1, 311	635	1, 946	10.3	102	48	150	7. 7
_	男	26, 134	1, 230	425	1,655	6. 3	92	33	125	7. 6
合計	女	27, 561	1, 371	501	1,872	6.8	55	33	88	4. 7
口口	計	53, 695	2,601	926	3, 527	6.6	147	66	213	6.0

· 年代別男女別精密検査結果

		77.1416.47	- 12 (11/1	, -,	ı
	区分					1	1	1	精	密検	査結	果	1	1	1	1	
年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常所見なし	胃がん	食道がん	悪性リンパ腫	その他のがん	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍瘢痕	胃炎	がんの疑い又は未確定	その他	未受診・未把握
40~4	4歳	5	4	80.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
45~4	9歳	5	5	100.0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
50~5	4歳	10	10	100.0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	3	0
55~5	9歳	10	9	90.0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	3	0	0	1
60~6	4歳	15	14	93. 3	0	0	0	0	0	0	3	0	1	7	1	2	1
65~6	9歳	18	16	88. 9	2	1	0	0	0	3	2	1	1	6	0	0	2
70 歳」	以上	150	140	93. 3	7	3	0	0	1	6	32	4	10	60	9	8	10
	男	125	117	93. 6	9	3	0	0	1	7	26	2	11	43	8	7	8
合計	女	88	81	92. 0	6	1	0	0	0	3	18	3	2	40	2	6	7
	計	213	198	93. 0	15	4	0	0	1	10	44	5	13	83	10	13	15

(ウ) 大腸がん検診

· 年代別男女別受診状況

()	1.			/ 1
(E	日 /	17	•	人)
(-	⊢ ∸ I	<u>'/</u>	٠	ノヘノ

年齢	区分	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者数	要精検率 (%)
40~44	歳	5, 809	266	4.6	10	3.8
45~49	歳	7, 756	307	4.0	16	5. 2
50~54	歳	7, 412	362	4. 9	21	5.8
55~59	歳	5, 301	326	6. 1	18	5. 5
60~64	歳	4, 326	378	8. 7	29	7. 7
65~69	歳	4, 185	590	14. 1	41	6. 9
70 歳以	上	18, 906	3, 266	17. 3	312	9. 6
	男	26, 134	2, 424	9.3	222	9. 2
合 計	女	27, 561	3, 071	11. 1	225	7. 3
	計	53, 695	5, 495	10. 2	447	8. 1

• 年代別男女別精密検査結果

(単位:人)

\	区分							精	寄 密検	査結	果				
年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常なし	大腸がん	ポリープ(非腺腫を含む)	憩室	痔疾患	胃疾患	潰瘍性大腸炎	クローン病	がんの疑い又は未確定	その他	未受診・未把握
40~44	歳	10	7	70.0	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0	3
45~49	歳	16	14	87. 5	3	0	5	2	4	0	0	0	0	0	2
50~54	歳	21	19	90.5	9	0	4	1	3	0	1	0	1	0	2
55~59	歳	18	14	77.8	4	2	8	0	0	0	0	0	0	0	4
60~64	歳	29	28	96.6	6	0	11	1	3	0	0	0	1	6	1
65~69	歳	41	39	95. 1	11	3	19	3	1	0	0	0	1	1	2
70 歳以	上	312	278	89. 1	40	14	141	37	21	0	2	0	14	9	34
	男	222	198	89. 2	28	9	98	29	20	0	1	0	7	6	24
合計	女	225	201	89. 3	47	10	93	15	14	0	2	0	10	10	24
	計	447	399	89. 3	75	19	191	44	34	0	3	0	17	16	48

(エ) 肺がん検診

· 年代別男女別受診状況

(単位	:	人)
\ I I——	•	/ -/

年齢	区分	対象者数	受診者数	再掲) 喀痰細胞 診検査	受診率 (%)	要精検者数	要精検率 (%)
40~44	歳	5, 809	228	0	3. 9	2	0.9
45~49	歳	7, 756	294	0	3.8	0	0.0
50~54	歳	7, 412	322	4	4. 3	5	1.6
55~59	歳	5, 301	314	7	5. 9	3	1.0
60~64	歳	4, 326	352	8	8. 1	4	1. 1
65~69	歳	4, 185	571	8	13. 6	10	1.8
70 歳以	上	18, 906	3, 734	42	19.8	113	3.0
	男	26, 134	2, 713	63	10. 4	74	2.7
合 計	女	27, 561	3, 102	6	11. 3	63	2.0
	計	53, 695	5, 815	69	10.8	137	2.4

• 年代別男女別精密検査結果

中100万久的特色快点和木 (丰位,八)													
	7 /\						*	青密検	査結界	₹			
	区分			业主				J	肺結核	ŧ	が	その	+
年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常所見なし	肺がん	良性肺腫瘍	活動	不活動	治癒	んの疑い又は未確定	の他(転移性肺がんを含む)	未受診・未把握
40~44	歳	2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	歳	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	歳	5	5	100.0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
55~59	歳	3	3	100.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64	歳	4	4	100.0	2	0	0	0	0	0	0	2	0
65~69	歳	10	10	100.0	2	0	2	0	0	0	1	5	0
70 歳以	上	113	110	97. 3	41	2	3	0	0	1	7	56	3
	男	74	71	95. 9	29	2	3	0	0	1	2	34	3
合計	女	63	63	100.0	21	0	2	0	0	1	6	33	0
	計	137	134	97.8	50	2	5	0	0	2	8	67	3

(オ) 前立腺がん検診

• 年代別受診状況

区分年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者数	要精検率 (%)
50~54 歳	3, 943	163	4. 1	6	3. 7
55~59 歳	2, 771	167	6.0	5	3. 0
60~64 歳	2, 170	160	7.4	9	5. 6
65~69 歳	1, 974	248	12.6	18	7. 3
70 歳以上	8, 228	1,644	20.0	162	9.9
合 計	19, 086	2, 382	12.5	200	8.4

(単位:人)

• 年代別精密	年代別精密検査結果								乙:人)
			水 丰	精密検査結果						
年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常なし	前立腺がん	前立腺肥大症	がん疑い	その他の疾患	受診拒否	未把握
50~54 歳	6	6	100.0	3	2	1	0	0	0	0
55~59 歳	5	4	80.0	1	0	0	3	0	1	0
60~64 歳	9	9	100.0	2	2	4	1	0	0	0
65~69 歳	18	16	88. 9	3	4	4	5	0	2	0
70 歳以上	162	140	86. 4	33	19	26	61	1	15	7
合 計	200	175	87. 5	42	27	35	70	1	18	7

(カ) 子宮がん検診

• 年代別受診状況

· 年代別受診状況 (単位:人)								
区分	対象者	受診	受診率			要精検		
	数数	者数	(%)	異常	要精密	要再	その他	率
年齢	刻	日奴	(/0)	なし	検査	検査	疾患	(%)
20~24 歳	2, 278	57	2. 5	49	4	0	4	7.0
25~29 歳	2,093	76	3. 6	71	2	0	3	2.6
30~34 歳	2, 212	140	6. 3	121	4	2	13	2.9
35~39 歳	2, 469	181	7. 3	153	6	0	22	3.3
40~44 歳	2,770	171	6. 2	148	1	0	22	0.6
45~49 歳	3, 747	197	5. 3	148	7	1	41	3.6
50~54 歳	3, 469	186	5. 4	153	2	1	30	1. 1
55~59 歳	2,530	142	5. 6	127	0	0	15	0.0
60~64 歳	2, 156	138	6. 4	122	2	1	13	1.4
65~69 歳	2, 211	104	4. 7	97	0	0	7	0.0
70 歳以上	10,678	337	3. 2	313	2	0	22	0.6
合 計	36, 613	1,729	4. 7	1, 502	30	5	192	1.7

(単位:人)

• 年代別精密検査結果

区分						精密検	査結果			
年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常所見なし	上皮内病変	頸部がん	体部がん	その他疾患	がんの疑い又は未確定	未受診・未把握
20~24 歳	4	3	75. 0	1	2	0	0	0	0	1
25~29 歳	2	2	100.0	0	1	0	0	1	0	0
30~34 歳	4	4	100.0	1	1	0	0	1	1	0
35~39 歳	6	4	66. 7	1	2	0	0	1	0	2
40~44 歳	1	1	100.0	0	1	0	0	0	0	0
45~49 歳	7	5	71. 4	3	2	0	0	0	0	2
50~54 歳	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	1
55~59 歳	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
60~64 歳	2	2	100.0	1	0	0	0	1	0	0
65~69 歳	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
70 歳以上	2	2	100.0	0	1	0	0	0	1	0
合 計	30	24	80.0	8	10	0	0	4	2	6

※要精検(体部のみ)を1件含む

(キ) 乳がん検診

• 年代別受診状況

(単位:人)

区分年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者数	要精検率 (%)
40 歳未満	4, 681	408	8.7	45	11.0
40~44 歳	2,770	232	8. 4	20	8.6
45~49 歳	3, 747	222	5. 9	30	13.5
50~54 歳	3, 469	205	5. 9	18	8.8
55~59 歳	2, 530	168	6. 6	12	7. 1
60~64 歳	2, 156	149	6. 9	9	6.0
65~69 歳	2, 211	129	5.8	5	3. 9
70 歳以上	10, 678	394	3. 7	21	5. 3
合計 (40歳未満含む)	32, 242	1, 907	5. 9	160	8. 4
合 計 (40 歳未満除く)	27, 561	1, 499	5. 4	115	7. 7

※30代は超音波検診、40歳以上はマンモグラフィによる検診

• 年代別精密検査結果

区分				精密検査結果				
年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	異常所見なし	乳がん	がんの疑い又は未確定	その他	未受診・未把握
40 歳未満	45	44	97.8	21	0	0	23	1
40~44 歳	20	18	90.0	11	0	1	6	2
45~49 歳	30	29	96. 7	11	0	1	17	1
50~54 歳	18	18	100.0	1	1	0	16	0
55~59 歳	12	11	91. 7	5	1	0	5	1
60~64 歳	9	8	88. 9	5	1	0	2	1
65~69 歳	5	5	100.0	4	0	0	1	0
70 歳以上	21	21	100.0	12	4	0	5	0
合 計 (40 歳未満含む)	160	154	96. 3	70	7	2	75	6
合 計 (40 歳未満除く)	115	110	95. 7	49	7	2	52	5

イ 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染に気付きにくく、適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがあるため、健康増進法に基づく健康増進事業による肝炎ウイルス検査を特定の対象者へ実施しています。

対象者: 40~47歳で、これまで肝炎検査を受けたことがない方クーポン対象者は、40歳の方(集団検診のみ)

• 年度別実施状況

年度 区分	受診者数	再掲) クーポン	クーポン 対象者	クーポン 受診率 (%)
平成 30 年	197	106	1, 212	8. 7
令和元年	163	104	1, 132	9. 2
令和2年	15	0		
令和3年	162	138	1, 642	8. 4
令和4年	108	63	1, 025	6. 1

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集団検診中止

• 令和 4 年度年代別実施状況

(単位:人)

区分	受診者数	再掲)	В	型	C	型
年齢	文衫有剱	クーポン	陰性	陽性	陰性	陽性
40~44 歳	73	63	73	0	73	0
45~49 歳	3		3	0	3	0
50~54歳	5		5	0	5	0
55~59 歳	8		8	0	8	0
60~64 歳	4		4	0	4	0
65~69 歳	10		10	0	10	0
70 歳以上	5		5	0	5	0
合 計	108	63	108	0	108	0

ウ 30・35歳健診

30歳・35歳の者を対象に健康診査を行い、若い世代から生活習慣病の予防に努めることにより、自分の健康への関心を高めます。 (単位:人)

区分 年度	対象者数	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
平成 30 年	1,980	165	39	77	0	49
令和元年	1,896	149	26	71	9	43
令和2年	中止					
令和3年	3, 768	296	41	132	10	113
令和4年	1,779	101	24	39	4	34

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ すこやか健診(生活保護受給者)

すこやか健診を行うことにより、生活習慣病、要介護状態等になることを予防します。

(単位:人)

区分年度	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
平成 30 年	8	0	5	0	3
令和元年	8	0	3	0	5
令和2年	中止				
令和3年	2	0	0	0	2
令和4年	6	0	1	0	5

[※]令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

オ 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は自覚症状がないことが多く、患者自ら病気に気づくことが難しいため、 早期に予防や治療に取り組むために、健康増進法に基づく健康増進事業による骨粗しょう 症検診を特定の対象者に実施しています。

対象者:20~70歳の女性で、前年度あま市骨粗しょう症検診を受診していない方 (市の検診は2年に1回)

• 年度別実施状況

区分	受診者数
年度	(人)
平成 30 年	157
令和元年	150
令和2年	
令和3年	
令和4年	85

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

• 令和 4 年度年代別実施状況

区分 年齢	受診者数	異常なし	要指導	要精検者 数	要精検率 (%)
20~24 歳	0	0	0	0	0.0
25~29 歳	0	0	0	0	0.0
30~34 歳	0	0	0	0	0.0
35~39 歳	0	0	0	0	0.0
40~44 歳	3	2	1	0	0.0
45~49 歳	5	5	0	0	0.0
50~54歳	14	8	6	0	0.0
55~59歳	15	6	8	1	6. 7
60~64 歳	13	3	5	5	38. 5
65~69 歳	28	12	13	3	10.7
70 歳	7	3	3	1	14. 3
合 計	85	39	36	10	11.8

(3) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、家庭における健康管理を支援します。

ア健康相談、栄養相談

区分	健康		
	実施回数	相談者数	栄養相談
年度	(回)	(人)	
平成 30 年	18	405	28
令和元年	19	395	5
令和2年	随時	0	4
令和3年	随時	125	10
令和4年	随時	235	3

イ 精神保健福祉相談

令和元年

令和2年

令和3年

令和4年

1 精神保	· 健倫仙怕										(早	压:人	()	
区分	相談								訪問					
		内訳								内訳				
年度	実人数	延人数	ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害	実人数	延人数	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	
平成 30 年	15	40	0		0	0	0	1	2	0	0	0	0	
令和元年	13	48	2		4	0	0	3	6	0	5	0	0	
令和2年	15	27	0	0	5	0	0	2	2	0	1	0	0	
令和3年	8	13	0	0	1	0	0	5	19	0	0	0	0	
令和4年	20	47	3	0	2	0	0	8	11	0	2	0	0	
区分		電記	話・電	子メー	ール									
			T	内訳										
年度	延人数	ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害								
平成 30 年	25	0		2	0	0								

(4) 健康教育

生活習慣病の予防や、その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を支援します。

ア 集団健康教育

(ア) 託児付き運動教室

令和3年度まで運動実技(軽体操やストレッチ)と健康に関する講話を行っており、 子育て世代が参加しやすいよう託児を実施しました。令和3年度からバランスボールを 利用した運動も取り入れ、教室名をヘルスアップ教室から「バウンス教室」に変更しま した。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
平成 30 年	6	101	
令和元年	6	80	ヘルスアップ教室
令和2年	6	55	
令和3年	6	63	バウンス教室

(イ)健康教室(食生活・調理実習)

令和3年度まで各疾患(高血圧、貧血)を予防するための栄養講話、調理実習疾患ごとの栄養講話と調理実習を実施しました。

区分年齢	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成 30 年	4	60
令和元年	3	34
令和2年	中止	
令和3年	中止	

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(ウ) いきいき体操

DVD による体操やエアロビ等を実施し、健康増進・体力向上を目指します。

区分 年度	実施回数	参加者数 (人)
平成 30 年	145	1,649
令和元年	128	1, 401
令和2年	62	387
令和3年	64	369
令和4年	128	1, 187

イ 乳がん自己検診法指導

乳がんの自己検診の効果を上げ、がんの早期発見につなげるため、乳がん検診を実施した方へ自己検診の方法の指導を行います。

区分 年度	参加者数 (人)
平成 30 年	1, 296
令和元年	1, 283
令和2年	
令和3年	
令和4年	841

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 骨粗しょう症栄養指導

骨粗しょう症を予防するため、骨粗しょう症検診の結果、要指導または要精検になった 方へ栄養指導を行います。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成 30 年	4	71
令和元年	4	51
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	4	42

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(5) がん患者アピアランスケア支援事業

令和4年7月から、がんに罹患された方の経済的負担を軽減するために、がん治療による アピアランス(外見)の変貌を補完する補整具(ウィッグや乳房補整具)の購入費用の一部 を助成しています。

区分	申請者数	汝 (人)			
年度	ウィッグ	乳房補整具			
令和4年	18	8			

(6) 家庭訪問

療養上の保健指導が必要である家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行うことで、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ります。

区分	要	旨導 等		川健 数育	閉じ りき	こも 予防		護家 者	寝か		認知	印症	その	つ他
年度	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
平成 30 年	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2
令和元年	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0